

防衛省

Ministry of Defense

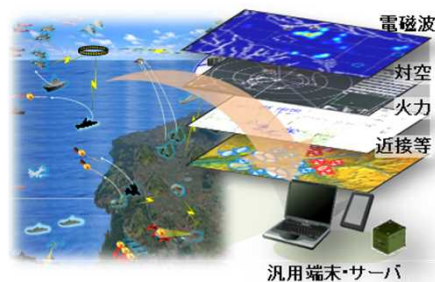
我が国の防衛と予算

Defense Programs and Budget of Japan

令和5年度概算要求の概要

Ⅱ 主要事項

- 将来指揮統制システムの研究
分散した部隊間に一元的な指揮統制を実現するための研究



将来指揮統制システム
(イメージ)

- 固定翼哨戒機 (P-1) の取得
現有の固定翼哨戒機 (P-3C) の除籍に伴い、その後継として能力を向上したP-1を取得
※ 探知識別能力、飛行性能、情報処理能力等が従来のP-1より向上



P-1

- 回転翼哨戒機 (SH-60L (仮称)) の取得 (6機)
ステルス性が向上した諸外国潜水艦に対する対潜戦の優位性を確保するため、搭載システム等の能力及び飛行性能を向上させた回転翼哨戒機 (SH-60L (仮称)) を取得



SH-60L (仮称)

- 護衛艦の建造 (2隻)
対機雷戦機能を含む多様な任務への対応能力の向上と船体のコンパクト化を両立した護衛艦 (FFM) (「もがみ」型護衛艦 11番艦及び12番艦 (3,900トン)) を建造



「もがみ」型護衛艦

- 哨戒艦の建造 (4隻)
我が国周辺海域における平素からの警戒監視所要に効果的に対応し得るよう哨戒艦 (1,900トン) を建造



哨戒艦 (イメージ)

- 潜水艦の建造 (1隻)
情報収集・警戒監視を有効に実施するため、探知能力等が向上した潜水艦 (「たいげい」型潜水艦 7番艦 (3,000トン)) を建造



「たいげい」型潜水艦
(イメージ)

Ⅱ 主要事項

- UP-3Dの能力向上（2機）

艦艇の電子戦訓練支援能力を向上するため、UP-3Dの搭載機器の換装及び機体改修を実施



UP-3D

- 「いずも」型護衛艦の改修
着艦誘導装置の取得等を実施



「いずも」型護衛艦に
着艦するF-35B

- 戦闘機（F-35A）の取得（6機）【再掲】
電子防護能力に優れたF-35Aを取得し、航空優勢を確保



戦闘機（F-35A）

- 戦闘機（F-35B）の取得（6機）【再掲】
電子防護能力に優れ、短距離離陸・垂直着陸が可能なF-35B
を取得し、戦闘機運用の柔軟性を向上



戦闘機（F-35B）

- 戦闘機（F-15）の能力向上（20機）【再掲】
電子戦能力の向上、搭載弾薬数の増加等の能力向上改修



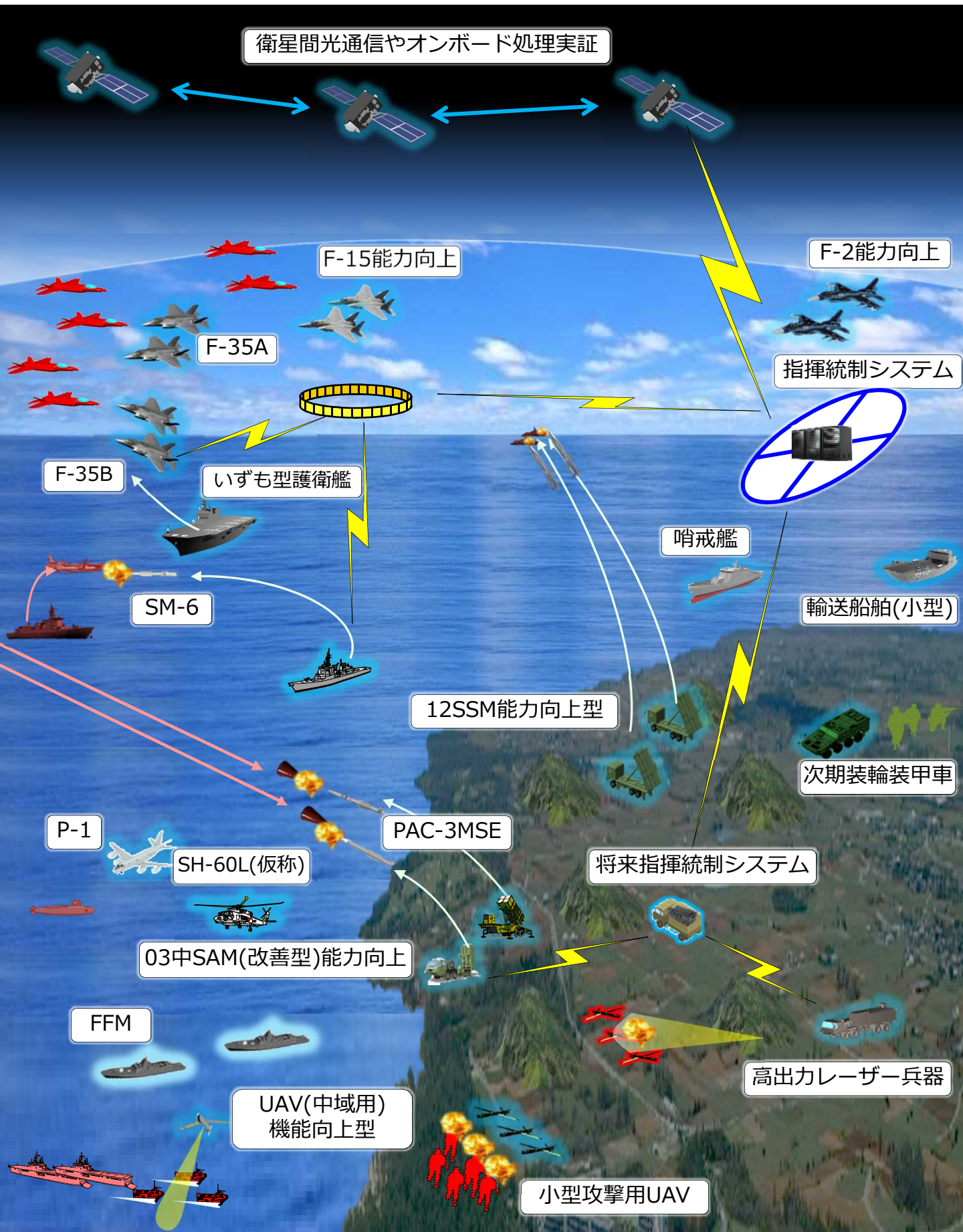
戦闘機（F-15）

- 戦闘機（F-2）の能力向上（4機）
対艦攻撃能力、ネットワーク機能等の能力向上改修



戦闘機（F-2）

領域横断作戦のイメージ



Ⅱ 主要事項

5 指揮統制・情報関連機能

- わが国周辺における**軍事動向等を常時継続的に情報収集**するとともに、ウクライナ侵略でも見られたような**認知領域を含む情報戦等**にも対応できるよう情報機能を抜本的に強化し、隙のない情報収集態勢を構築する必要。
- 迅速・確実な指揮統制を行うためには、**抗たん性のあるネットワーク**により、**リアルタイムに情報共有**を行う能力が必要。
- こうした分野における**AIの導入・拡大**を推進。

情報機能の強化

- 情報収集・分析体制の強化
情報本部等の国際軍事情勢等に関する情報収集・分析能力の強化のため、所要の体制を整備
- 画像解析用データの取得【再掲】
高解像度を有する民間光学衛星をはじめ、多頻度での撮像を可能とする小型衛星コンステレーションを含む各種民間衛星等を用い、周辺地域における情報収集を実施
- AIを活用した公開情報の自動収集・分析機能の整備
- 防衛駐在官の拡充
英国及びウクライナに各1名を増員するとともに、クウェートからカタールへの振替え（令和5年度末76名、在勤49大使館2代表部）

指揮統制機能の強化

- 指揮統制システムの整備
自衛隊の指揮統制機能及び関係省庁等との接続機能を強化する中央指揮システムの換装
- AIを活用した意思決定迅速化に関する研究

6 機動展開能力

- 我が国の地理的特性を踏まえると、**部隊を迅速に機動展開する能力**を構築するとともに、それを可能にする**基盤の整備**が必要。
- 輸送船舶、輸送機、輸送ヘリコプター等の**各種輸送アセットの取得等による輸送力の強化**が必要。

- 陸海空輸送力の強化
島嶼部を含む我が国への攻撃に対して、必要な部隊を迅速に機動・展開できる輸送力を強化するため、
小型級船舶（2隻）、
輸送機（C-2）（1機）、
多用途ヘリコプター（UH-2）（8機）を取得



小型級船舶（イメージ）



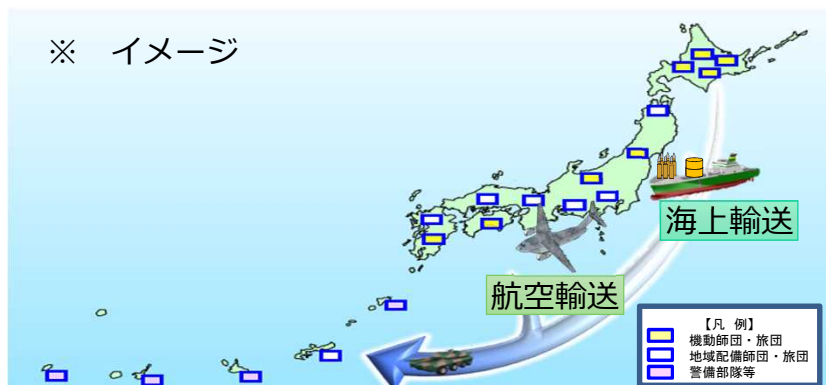
輸送機（C-2）



多用途ヘリコプター（UH-2）

Ⅱ 主要事項

- 輸送・補給基盤の整備
 - ・ 輸送力及び補給体制の強化のため、南西地域における輸送・補給基盤を整備
 - ・ 迅速かつ継続的な補給品の供給のための設備の近代化



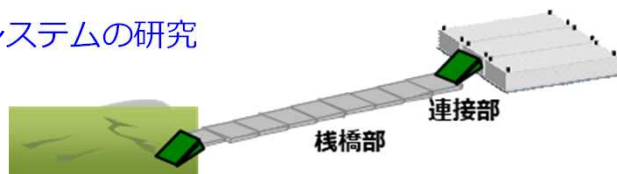
- PFI船舶の活用による統合輸送態勢の強化
PFI船舶を使用した部隊・装備品等の輸送訓練及び港湾入港検証を実施



PFI船舶（はくおう）

- 機動展開訓練
各方面隊の計画により方面区域を跨いで部隊を機動展開させ戦術技量の向上を図り、抑止力及び対処力の実効性を向上

- 大規模港湾がない島嶼部における揚陸支援システムの研究



先進揚陸支援システム（イメージ）

7 持続性・強靱性

- 自衛隊の運用を円滑にするため、**弾薬・燃料の確保**、**可動数の向上**（部品不足の解消等）、**施設の強靱化**（施設の抗たん性の向上等）、**運用基盤の強化**（製造態勢の強化、火薬庫の確保等）等を図ることが重要。

【弾薬・燃料の確保等】

- 各種弾薬の整備
継続的な部隊運用に必要な各種弾薬を確保
- 弾薬の製造態勢等の確保
12式地对艦誘導弾能力向上型 等
- 火薬庫の確保
スタンド・オフ・ミサイル等の大型弾薬等の安全な保管のため火薬庫を確保
- 部隊運用に必要な燃料の確保
- 備蓄、事前集積資器材等の整備
- 滑走路等被害復旧の能力向上に必要な器材の取得
航空基地の滑走路等が被害を受けた場合に備え、より迅速な被害復旧を可能とする器材を取得



SM-6

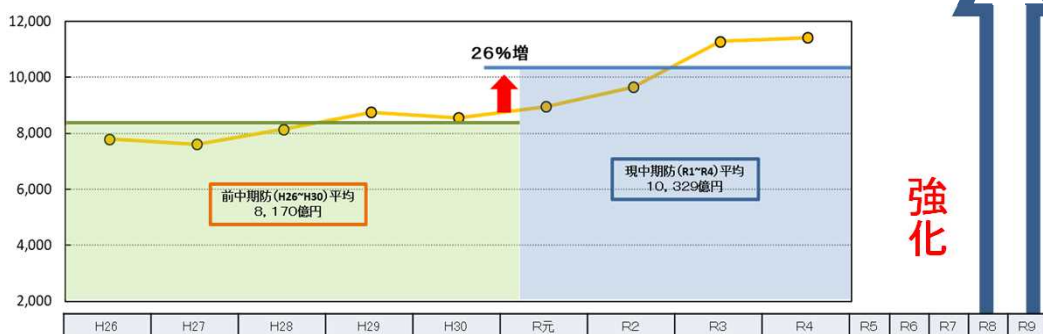


火薬庫

Ⅱ 主要事項

【装備品の維持整備】

- 装備品の維持整備
部品不足等による非可動を局限し、保有装備品の可動数を最大化するため、十分な部品を確保し、確実に整備



<装備品の部品不足の例>



部品取りされたF-2



部品取りされたP-1

強化

- PBL※(Performance Based Logistics)等の包括契約の推進

(※PBLとは)

装備品の維持整備業務について、必要な修理や部品の調達をその都度契約するのではなく、修理時間の短縮や在庫の確保などの成果に主眼を置いて、一定期間包括的な契約を結ぶもの。

- ・ 輸送ヘリコプター (CH-47J/JA) の維持整備
平成30年度よりPBLにて維持整備を実施
- ・ 艦船用ガスタービン機関の維持整備
令和3年度よりPBLにて維持整備を実施しており、ガスタービン機関を拡大
- ・ 固定翼練習機/連絡機 (TC/LC-90) の維持整備
令和5年度よりPBLにて維持整備を開始



輸送ヘリコプター
(CH-47J/JA)



「ひゅうが」型護衛艦



練習機 (TC-90)